

私の意見「事故と事象」
－田中 NRA 委員長の記者会見－

碓本 岩男

1、まえがき

2/26 の原子力規制委員長の記者会見で、「事故と事象」について記者から質問があり、田中委員長が回答している。その回答内容は、東電の対応（発言）が不適切であるかのような誤解が生じる内容になっているので、回答内容の誤りを指摘し、東電の発言が適切であったことを述べておきたい。

2、記者会見内容（NRA ホームページから）

記者の質問の内容は「東電が（汚染水漏洩）事故の説明で、事象という言葉を使っているのだが、事故と事象の使い分けのルールはあるのか」というものであった。

委員長の回答内容は「今回は明らかに事故です。事象と言うのはある現象を表すのであって、その結果が事故になっているのかそうでないのかいろいろあると思うのですが、（中略）かなりの汚染水が漏れたとしたら事故だと思います。事象と言う言葉でごまかしている何かということだとしたら、やはりそれは間違いだと思います」

3、正確な回答

記者の質問は「ルールがあるのか」であり、あるかなしかを回答しなければならないのだが、委員長の回答には質問に対する回答がない。正確に回答するのであれば、以下でなければならない。

「原子力発電所の運転、停止時に関して、事故の定義についてはルールがあります。発電用軽水型原子炉施設に関する安全設計審査指針の用語の定義に、事故とは、ということで定義が明確に定められています。運転時の異常な過渡変化を超える異常な状態であって、発生頻度はまれであるが、原子炉施設の安全設計の観点から想定されるものをいう、となっています。

事象という言葉についての定義は指針、基準類には定義されていませんが、事象分類、事象区分という言葉は、原子力発電所の安全性の審議、あるいは設計基準に定められている運転状態との関係の説明などで良く使われている言葉です。この使われ方から言うと、事象とは、通常の状態、事故を含み、原子力発電所で生じる全ての事柄、出来事を表しています。

今の、福島第一発電所の状態に対して、事象分類、即ち、どのような事象が生じた状態が異常な状態であって、どこまでの事象が異常な過渡変化で、どこからが事故などを定めていません。従って、東電が、事故ではなく、事象という言葉を使って説

明することは、技術用語としては適切であることとなります」

なお、以前投稿した、私の意見「技術屋の視点」(2013.5.28)に「もんじゅ」の2次系ナトリウム漏洩時の記者会見での「事故と事象」に関して、以下を記載している。

「当時の動燃の副理事長が記者会見で『今回の事象は』と発言したところ、詰め掛けていた報道陣から『事故だろう!』という非難の声が一斉に上がった。ここで副理事長が発言できなくなってしまい、広報を含めてきちんと事象の意味を説明できなかったのも問題だが、報道陣の事故だろうという発言は、技術用語に関する不勉強である。

広報担当者は『事象とは、通常の状態、事故を含み、原子力発電所で生じる全ての事柄、出来事を表しており、今回の2次系ナトリウム漏洩という事象は、運転状態Ⅱに分類される事象であって、運転状態の分類上は異常な過渡変化状態となり、技術的には事故とは呼ばない事象です』と説明すべきであった。事象という言葉は技術的には適切な表現であり、非難されるべき表現ではないのである」

4、今回の記者会見での問題点

「もんじゅ」の2次系ナトリウム漏洩は平成7年のことであるが、約20年経った今回の記者会見でも、また、記者の不勉強が表れている。

記者以上に問題なのは田中委員長の回答内容である。原子力発電所の安全を審査するNRAという組織の長が、事故と事象について、定義を明確に示さないまま、事故です、と言い切り、後に、事故と思います、と感覚的な発言に変えるなど、記者と同じレベルの感覚的な回答しかできなかったことは信じられないことである。田中委員長は原研での経験は長いが、原子力発電所の設計、建設、運転にはまったく関わっていないことが、このような回答になったのかも知れないが、NRAの委員長を引き受けた以上、原子力発電所の設計思想、安全思想の基本ぐらいは知識として持っておいてもらいたい。

事故と事象という基本的なことも知らないまま、東電に対して、「事象という言葉でごまかしている何かということだとしたら、やはりそれは間違い」と、東電を悪者にするかの発言は、福島第一発電所の状態に対して、事象分類がなされていない以上は、きちんと撤回すべきである。委員長のこの発言に対し、記者会見に出席していたNRAの事務方も訂正などの対応ができず、東電に汚名を負わせたことも問題である。

5、まとめ

東電が、汚染水漏洩についての説明で、事故ではなく、事象という言葉を使ったことは、適切であり、事故と事象の定義(ルール)の説明もできず、憶測で「事象という言葉でごまかしている何かということだとしたら、やはりそれは間違い」と発言した田中委員長の回答が不適切である。

以上